

2023 年度 経済学部 FD 活動報告

2023 年度の経済学部 FD 活動計画に従って下記の活動を行った。

1. 学生対象

(1) 「学生生活とその成果に関するアンケート」

毎年 4 年次生を対象として行っている学生生活とその成果に関するアンケート（以下、学生生活アンケート）を 2023 年度も実施した。このアンケートでは、大きく「進路」、「卒業論文」、「学生生活」、「経済学部の教育」の項目について 20 個程度の質問項目を設定している。

このアンケートの結果は FD 委員によって分析され、その内容が 2023 年 12 月 13 日の第 3 回経済学部 FD 研修会において報告された。また、毎年この結果と分析をふまえて次年度の経済学部研修会の議題を設定している。

(2) 「経済演習制度」

経済学部では 3 年間のゼミ活動が必修として義務づけられている。1 年次には、経済基礎演習において担当教員の指導を受け、議論の仕方や資料検索の方法、論文・レポートの書き方などを学び、全てのゼミで春学期に「書評」または「修了レポート」を、秋学期に「修了論文」を提出することとなっている。

3・4 年次には、経済専門演習において 2 年間、同一の教員から専門的な指導を受け、最終的に卒業論文の作成へと結びつけている。この 2 年間の内に、国内外の他大学との研究発表会やインターゼミと呼ばれる活動を行うなど対外活動に取り組むゼミナールも存在している。学生生活アンケートでは 93.1%が 3 年間の経済演習制度に「非常に満足」、あるいは「まあまあ満足」と回答していた。

(3) 「能力別クラス編成」

2009 年度から「経済学のための数学」で、2012 年度から「ビジネス英語」と「時事英語」で能力別クラス編成を実施している。受講生の状況に応じて到達目標や教授方法に差異を持たせることで、きめ細かな指導が可能となっている。学生生活アンケートでは、多くの学生（「経済学のための数学」に対しては 84.8%、「ビジネス英語」「時事英語」に対しては 78.8%）が能力別クラス編成に「非常に満足」、あるいは「まあまあ満足」と回答していた。

(4) 「経済学部オリエンテーション」

3/31 と 4/1 の 2 日間、新入生に対して学部長講話、経済学部のカリキュラム説明、1 年次のゼミガイダンス、第 1・第 2 クォーターの履修登録指導、数学テストといった内容の

新入生ガイダンスを実施した。また、4月12日に経済学部新入生を対象とした経済学部での学び方講座を実施した。新入生にとっては最初に大学と関わる場であり、これらの行事を通じてカリキュラムのねらいやゼミの内容、学生生活上の留意点、進路決定に向けた心構え等について説明を行っている。2023年度は新入生が尋ねやすいよう在学生10名ほどに指導補助をお願いした。

(5) 「経済学生論集」

指導教員から推薦された個人やグループによる論文を、『経済学生論集』（南山大学経済学会発行）としてまとめている。2023年9月に刊行された第37集には10編の論文が掲載された。また、論集の最後には、2022年度に提出された全ての卒業論文のタイトルが記載されている。

(6) 「学部長表彰者との懇談会」

毎年5月に、成績優秀者に対する学部長表彰式の後に、学部長と学科長が表彰を受けた学生との懇談を行っている。ここで集められた意見は教授会や学部研修会などで報告され、必要があればそれに対する改善提案がなされている。

2. 教員対象

(1) 第1回経済学部FD研修会（6月29日）

「学習成果に係る評価方法の検討について」というテーマで意見交換をした。具体的には、経済学では学習成果に係る評価方法として4年生にアンケートを実施しているが、その質問内容について意見交換を行った。

(2) 経済学部研修会（第2回経済学部FD研修会：8月30日）

6時間程度の時間を使い、「経済学推薦入試に係る今後の方針について」、「数学の入学前教育について」、「経済学部での学び・学生生活に関するアンケートについて」、「修士種別による成績追跡調査について」、「今後の入試に係る検討事項について」などのテーマについて集中的に議論を行った。また、「入試種別による成績追跡調査」についての報告があった。

(3) 第3回経済学部FD研修会（12月13日）

「学生生活アンケート」の分析結果について報告・議論が行われた。今年度も、2022年度と同様に、「進路」、「卒業論文」、「学生生活」、「経済学部の教育」に関する項目について、アンケート結果を集計・分析し、学生の学生生活の実態把握およびディプロマ・ポリシーに掲げている学部教育の達成評価を行った。

(4) 第4回経済学部FD研修会（3月1日）

「経済学部推薦入学審査(指定校)の方針について」というテーマで議論を行った。経済学部では数年前から指定校推薦の推薦依頼校の基準について、試験的に見直しを行ってきた。その見直しの効果が報告され、その結果に基づき、本格的な依頼校選定に関する規定づくりを行った。

(5) 経済学部FD委員会（メールによる報告・議論；3月5日から3月12日）

FD委員、教務委員、入試広報委員、学生委員、キャリアサポート委員で構成される経済学部FD委員会を開催し、2023年度のFD活動を確認した上で、2024年度のFD活動計画について議論した。

なお、上記の2023年度の経済学部FD活動について、半期ごとに、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッションポリシー）の内容を再確認したうえで、全てのFD活動が、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づく活動であったことを確認した。